

2024年度 維持期(生活期)における装具支援

維持期(生活期)において、下肢装具が不適合であるにもかかわらず、適切な対応がされずに困っている『装具難民(装具支援格差)』と呼ばれる方々が少なくありません。装具の不適合や対応の遅れは、日々の生活に大きな支障をきたす可能性があります。

本研修では、こうした「装具支援格差」の解決に役立つ、下肢装具の基本的な知識や制度、代表的な短下肢装具の特徴と生活期においてよく見られる問題点やその対策をわかりやすく解説します。

さらに、訪問看護における在宅リハでの装具の関わりについて、事例をもとにした具体的な解説やグループワークを通じて、生活期における評価や連携の視点を深め、生活期の支援に必要な装具対応力を向上させることを目指します。

プログラム

時間	内容・講師
9:50 ~	オリエンテーション
10:00 ~ 12:00 (途中、休憩はさみます)	すぐ使える！ 『装具支援格差』の解決に役立つ基礎知識 地域リハビリテーション支援センター 理学療法士 有馬 一伸
~13:00	お昼休憩
13:00 ~ 15:50 (途中、休憩はさみます)	“これぞ在宅のリアル！” 訪問看護における在宅リハでの装具の関わり ~評価と連携を中心に~ 株式会社 Re ambitious 訪問 R-station 理学療法士 田代 宙 氏
15:50 ~16:00	装具に関する Q&A (質疑応答含む)

* 研修終了後に「クレンジック継手の調整と装具体験」を予定しております。

参加希望の方は申し込みの際に、『ご意見・ご要望・配慮事項』の欄に靴のサイズの記載をお願いします。

- 開催日 2025年1月25日(土) 9:50~16:00(受付 9:30~)
- 研修会場 神奈川リハビリテーション病院 3階研修室(厚木市七沢516) 本厚木駅よりバスで30分
- 定員 30名
- 受講料 3,500円
- 対象 医療職(PT・OT)
セラピスト向けの内容になっていますが、装具に関心のある看護師・相談員の方も大歓迎です。
- 申込方法 地域リハ支援センターのホームページ、QRコード、
または Fax(裏面の用紙)に必要事項を記載の上、お申し込みください。
- 受講の可否 受講日の約1ヶ月前までにメールアドレスにご連絡いたします。
(応募多数の場合、選考にて決定させていただきますことをご了承ください)
- その他 生活期の装具支援で 困っていること がありましたら、『ご意見・ご要望・配慮事項』の欄にご記入ください。



当日は、検温や手指消毒などの感染予防対策を実施します。

<問い合わせ先> 地域リハビリテーション支援センター 担当:砂川・有馬・吉澤
〒243-0121 厚木市七沢516 ☎:046-249-2602 Fax:046-249-2601

受講を希望される方は、必要事項をご記入の上、送信してください。

◎ FAX 番号は、お間違いのないようにお願いいたします。



『 維持期(生活期)における装具支援 』 申込書

氏 名	フリガナ () (男・女)	職 種	
勤務先名		経験年数	年目
連絡先住所	〒() 自宅 ・ 勤務先 ※どちらかに○をしてください		
電話番号		FAX	
メールアドレス			
装具体験希望	有 ・ 無	靴のサイズ	cm
現在、支援する上で “ <u>困っていること</u> ” がありましたら、ご記入ください。			

*お申し込みの際の情報は、当研修以外で使用することはありません。

* 上記アドレス宛に、受講決定通知や研修会についてのお知らせを送信しますので、

確実にご連絡のとれるメールアドレス の記載をお願いいたします。

chiiki-shien.kensyu@kanagawa-rehab.or.jp からのメールが受信できるように設定をお願いします。

<問い合わせ先> 地域リハビリテーション支援センター 担当:砂川・有馬・吉澤

〒243-0121 厚木市七沢 516

☎:046-249-2602 Fax:046-249-2601